

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	4148
研究課題名	胃静脈瘤に対して静脈瘤の硬化を行った後、排血路にコイルをおいて、カテーテルを抜去したB-RT0についての後方視的研究
研究の意義・目的	胃静脈瘤のBRT0では、バルーンカテーテルを使用し、血管を一時的に塞いだ後、硬化剤を入れて、24時間の安静を必要とする。これは、硬化が不十分な状態でバルーンカテーテルを抜去すると、肺塞栓がおこった報告があるからである。24時間のカテーテル留置は患者さんの足を進展した状態でベッド上安静を強いることとなり、侵襲が強い。カテーテル留置そのものが深部静脈血栓や肺塞栓のリスクとなりえる。今回、カテーテルを24時間留置せずに、バルーンカテーテルの先端にコイルを留置し、30分で抜去した症例を後方視的に研究し、安全性、有用性を検討する。この検討は臨床的に有用で今後の治療法に影響を与えうる。
研究期間	承認後 ～ 2020年12月31日
研究対象者の範囲	2016年6月1日から2018年5月31日の間に大阪市立大学医学部附属病院放射線科で胃静脈瘤に対してB-RT0を施行し、最後にコイルを置いてカテーテルを抜去された患者様が対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、CT画像、血管造影画像
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	該当なし
代表施設のURL	該当なし
研究成果を公表する方法	学会発表や論文にて公表予定である
試料・情報の提供方法	該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学医学部大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 山本 晃
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	山本 晃 大阪市立大学医学部大学院医学研究科放射線診断学・IVR学 講師 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話：06-6645-3831 FAX：06-6646-6655